

■ 第18回アジアこども会議 ■



- ◆日 時 : 2011年8月4日(木) 14時45分~17時15分
- ◆会 場 : 赤坂陽光ホテル(港区)
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者(国内:12名、海外:3名 計15名)
- ◆テーマ : 「3R-リデュース・リユース・リサイクル」
- ◆内 容 : チームごとに話し合いその成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言としてまとめ参加者全員の署名入り宣言書を環境大臣に手渡す
- ◆司会進行 : 環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 沼田室長補佐
- ◆プログラム :
 - 主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 中江利忠副会長>
 - ディスカッション
 - ゴミも資源も元から減らす(リデュース)
 - くり返し使う(リユース)
 - 資源として再び利用する(リサイクル)
 - リサイクルの流れ(スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・ビン他)
 - 「こどもアジェンダ21」宣言とりまとめと記入
 - 子供たちの代表より環境省 総合環境政策局 環境教育推進室 増井久輝室長補佐(環境大臣代理)へ宣言書を手渡す
 - 閉会



環境省 リサイクル推進室の沼田室長補佐がサンプルを見せながら3Rの説明

①リデュースとは

出来るだけゴミを出さないように、不要な物は買わない。
レジ袋をもらわない、マイボトルを持ち歩く

②リユースとは

使える物は捨てずにくり返し何度も使う。
リターナブル容器（牛乳瓶のように、洗って何度も使える容器）の物を買う

③リユースとは

資源を分別し、リサイクルしやすくしよう。
ペットボトルは、ラベルをはがし洗ってから捨てる。



実際にアルミ、スチール缶の分別機械を操作し分別を体験、アルミ缶をリサイクルした合金を手に持ち資源の重みを感じる子供たち。

その後、3チームにわかれ、3Rについて話し合い意見交換がなされました。

◆日本×インドチーム

一部抜粋

■ゴミを減らそう大作戦

インドのアクル君の学校では、校則でビニール袋の使用が禁止されています。
また、雨水をためて植物を育てています。

日本の学校全体で取り組んでいることは、休み時間には全員外で遊び教室の電気を節電してます。

些細な事でも、学校全体で取り組むことは、大きな効果があると思うし、同じように自宅でも実行して行くことが大事です。



◆日本チーム

一部抜粋

■リデュース作戦

身近な所から考えてみるとやはり、スーパーなどの食品売場が資源の無駄が多いと感じました。魚や肉、豆腐などのプラスチックトレーは、臭いなどがあるため再利用することなく捨ててしまいます。自宅から持って行ける容器などの使用を考えていかなければならないと思います。

またレジ袋も数円単位ではなく、1000円などとても支払えない金額の設定もありだと思えます。そうすれば、エコバックの使用率が上がるはずですよ。



◆日本×韓国チーム

一部抜粋

■みんながすべき事

私たちの班の学校では、BDF（使用済み油集め）やテレホンカード集め、缶のプルタブ集めを行っています。

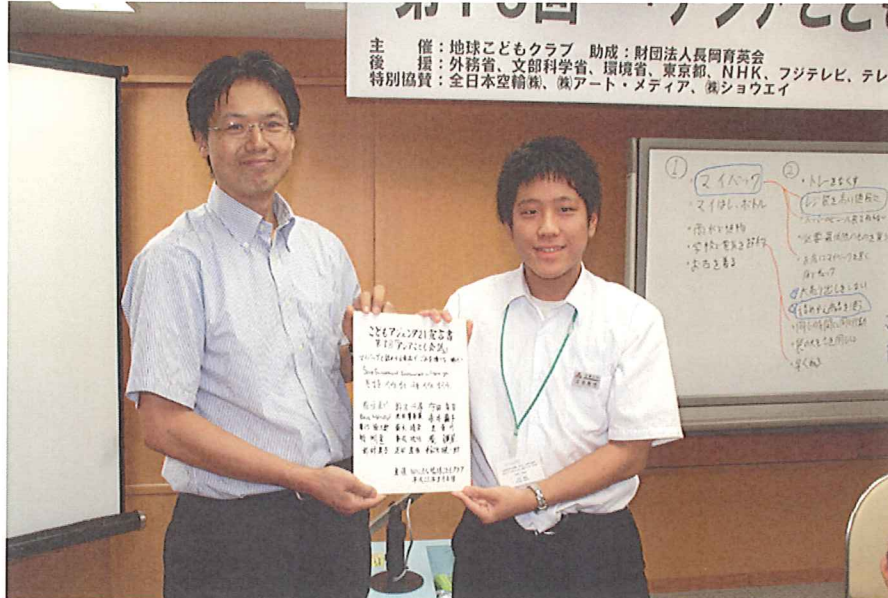
韓国の学校で行っていて、日本でも見習うべきだと思う話が出ました。

学校便りのような保護者向けの紙プリントは配らず、ホームページに掲載して紙の無駄を省いているそうです。『アルンダウンカゲ』と言って日本でいうリサイクルショップでは、使わなくなった物を売買するだけでなく、交換したり貰ったりといった事もしています。



「こどもアジェンダ21」宣言

【マイバックと詰めかえ商品で、ごみを捨てない時代へ】



■日本 ■韓国 ■インド

の受賞者全員の署名がされた宣言書に宣言を記入、増井久輝 環境省 総合環境政策局 環境教育推進室室長補佐に手渡しました。